

平成30年度決算

普通会計決算認定特別委員会説明資料

徳島県警察本部

目 次

I	平成30年度警察本部主要施策の成果の概要	1
II	主要事業の内容及び成果	3
III	歳入歳出決算額	4
1	一般会計決算額	4
(1)	歳入決算額	4
(2)	歳出決算額	4

I 平成30年度警察本部主要施策の成果の概要

第1 身近な犯罪の徹底抑止

平成30年中の刑法犯認知件数は、3,094件と15年連続で減少した。

近年、高い水準で推移しているDV・ストーカーや児童虐待などの人身安全関連事案に対しては、関係機関・団体等と連携の上、被害者の安全確保を最優先とした対応に努めた。また、高齢者を中心に被害が広まっている特殊詐欺についても、金融機関等と連携して窓口やATM周辺で警戒を強化するなど水際対策を推進するほか、「だまされた振り作戦」による取締り等、抑止と検挙の両面で対策を進めた。

第2 重要犯罪等の徹底検挙

平成30年中、殺人、強盗等の重要犯罪の認知件数は47件、検挙件数38件であった。

知能犯事犯では、贈収賄事件や公職選挙法違反事件等を検挙したほか、暴力団対策では、組員による恐喝、傷害事件等で31件28人を検挙し、暴力団組織の壊滅・弱体化に向けた取締りに努めた。また、関係団体や事業者等と連携の上、暴力団排除活動を推進した。

第3 交通死亡事故の徹底抑止

平成30年中、人身交通事故の発生件数は2,809件と14年連続で減少し、交通事故死者数は31人と前年から3人減少した。

県警察では、更なる交通事故抑止に向け、関係機関・団体と連携の上、交通安全教育をはじめ、悪質・危険性の高い違反に対する取締りや交通安全施設の整備に努めた。また、全国的に高齢ドライバーによる重大事故が多発している状況を踏まえ、参加・体験型の「運転技能簡易講習」を実施するなど、運転に不安を覚える高齢ドライバーへの支援に努めた。

第4 大規模災害、テロ等への徹底対処

今後発生が懸念される南海トラフ地震をはじめとする、あらゆる自然災害に的確に対処できるよう、活動拠点の整備・機能強化を進めるとともに、国や自治体との連携の下、初動対応訓練や装備資機材の習熟訓練等を繰り返し行い対処能力の向上と強化を図った。

また、厳しい国際テロ情勢を踏まえ、テロ等の事態を想定した訓練を重ねるとともに、消防、自衛隊、海上保安庁等の関係機関と連携し、緊急事態に対する対処能力の向上にも努めた。

第5 組織基盤の徹底強化

平成30年春、徳島市周辺の4警察署を統合して、「徳島名西警察署」、「徳島板野警察署」の運用を開始し、早期事件検挙等に努めた。また、警察本部に「企画課」を新設し、阿南市・阿波市における運転免許センターの設置や出張型の免許更新手続きの試行、交番・駐在所の在り方の見直しなど、「警察署再編整備等総合計画」の具現化に向けた取組を強化した。

また、業務の合理化・効率化のほか、時差出勤や勤務地居住の原則緩和など各種施策の推進によるワークライフバランスの実現、その他、女性警察官の採用・登用拡大など、時代の要請に応える警察組織の運営に取り組んだ。

II 主要事業の内容及び成果

(単位：千円)

事業名	事業内容及び成果
新防災センター（徳島中央署）施設整備等事業	大規模災害発生時においても治安・防災の拠点としての機能を発揮するため、老朽化し耐震性能を満たしていない徳島中央警察署庁舎を、民間資金を活用したPFI方式により整備を進めた。 (153,706)
警察施設防災機能強化事業	南海トラフ巨大地震等に備えるため、防災拠点となる警察施設の防災機能を強化した。 (232,984)
交番・駐在所等整備事業	地域の警察活動拠点である交番・駐在所施設の老朽化の解消と、地域の防災拠点としての機能を強化するため、駐在所の集約とテナント化、駐在所リフォーム及び交番の建替を実施するとともに、駐在所の整備を民間資金を活用したPFI方式により事業を進めた。 (116,908)
警察施設長寿命化推進事業	「徳島県公共施設等総合管理計画」を推進するため、警察施設の長寿命化に向けた詳細な現況調査や保全台帳の整備を進め、個別施設計画の早期策定を図った。 (6,944)
交通安全施設整備事業	安全で快適な交通環境を確保するため、交通安全施設の計画的な更新と、道路の新設・改良に伴う交通信号機、道路標識等の整備を行った。 (608,320)

Ⅲ 歳入歳出決算額

1 一般会計決算額

(1) 歳入決算額

(単位：円)

区 分	予 算 現 額	調 定 額	収 入 済 額	不納欠損額	収入未済額	予 算 現 額 と 収 入 済 額 と の 比 較
警 察 本 部	2,233,275,000	2,046,360,192	2,046,257,192	40,000	63,000	△187,017,808

(2) 歳出決算額

(単位：円)

区 分	予 算 現 額	支 出 済 額	翌年度繰越額	不 用 額	予 算 現 額 と 支 出 済 額 と の 比 較
警 察 本 部	21,905,247,000	21,392,471,884	147,900,106	364,875,010	512,775,116